

卓 話

平成 25 年 8 月 10 日

『岐阜長良川・岐阜西・岐阜中ロータリークラブ合同公式訪問例会』 ガバナー挨拶

RI2630地区 ガバナー 加賀 修様

皆様、こんにちは。昨日は立秋で、暦の上では立秋も過ぎましたが、残暑の厳しいこの頃で、涼しさが待たれます。

私は、2013-14年度ガバナーをさせて頂いて居ります、桑名西ロータリークラブの加賀修です。職業は、陶芸家・三代目瑞山です。抹茶々皿とか水指とか茶道の道具を作っています。7月より公式訪問も始まり、8月中にはお盆を挟んで14ヵ所の公式訪問に行かせてもらいます。本日は再度、関谷崇夫AGにお世話になります。ホストクラブの岐阜長良川ロータリークラブの皆様にも、お世話になりましてありがとうございます。



地区では岐阜西ロータリークラブの篠田靖之パストガバナーにご指導を受けています。ありがとうございます。眞鍋修身 情報部門副委員長、内藤篤 米山記念奨学部門アドバイザーを。岐阜中ロータリークラブより、故金正司 ローターアクト小委員会委員、大橋哲也 補助金小委員会委員を。岐阜長良川ロータリークラブより、箕浦洋和 国際奉仕部門・新世代部門アドバイザー、市原登志徳 インターアクト小委員会委員、戸本伸 青少年交換小委員会委員として出向して頂いて居ります。今後共、宜しくお願い致します。

ロータリーは色々な人と出会える場です。出会いを伝えに各クラブへ訪問させて頂ければいいのかなあと考えています。しかし、世界534名のガバナーはRIの役員と位置付けられていますので、ロンドン・バートンRI会長の『テーマ』にそって、『ロータリーを实践し、みんなに豊かな人生を』と会長賞への挑戦（7月1日～3月31日まで）

1、会員増強の推進 純増1名（3月の時点で6月末を見据えています）

1、ロータリー財団を通じた人道的奉仕も充実

本年度より、未来の夢計画が実施されています。自分達で計画した事（夢）が実現されます。その為にも1人150\$をお願いします。

1、ロータリー・ファミリーを通じたネットワークの強化

親睦をクラブ・家族・その他の方々と。

2630地区は34地区の中でもいつも会長賞へ挑戦されるクラブが少ないように聞いています。そして今、自分に何が出来るか。各人が問うて頂きたい。

1、例会場をどのように考えているか → 礼

1、友達はいるか → 友達を作る事 → 維持へ

1、食事に感謝しているか

1、今日は何か良い事をしたか → 財団へ寄付

1、いつも例会のお手伝いをしているか

ロータリーという船はすべてが乗組員である事、

ロータリーの価値観を『入りて学び、出でて奉仕』

加藤 正孝・内藤 篤・森井 脩次 各会長にはお渡ししてあります。

『私のロータリー』をお知らせください。

『脚下照顧』

1、充実したクラブづくりがロータリーを救う

1、良きロータリアンであり続けるためには

1、そして今、私はロータリーのために何が出来るか

始まったばかりのガバナー年度です。今後ともよろしくご指導くださいます様、お願い申し上げます。本日はありがとうございました。